

2023（令和5）年度  
学校関係者評価 報告書

学校法人 東杜学園  
国際マルチビジネス専門学校

## 2023（令和5）年度 学校関係者評価報告書

学校法人東杜学園 国際マルチビジネス専門学校では、教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について現状を点検し、その改善を図るため自己点検・自己評価を実施し「2023（令和5）年度自己点検評価報告書」を取りまとめ、当校ホームページに公開いたしました。

また、学校関係者評価委員会を設置し、本校に関連する業界・企業の皆様より当校の学校教育及び運営に対しご意見やご指導をいただきました。

頂戴いたしましたご意見等につきまして「2023（令和5）年度学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を今後の学校運営に反映させ、教職員一同社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質のさらなる向上を目指して参る所存です。

関係者の皆様には、今後共なお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2024（令和6）年9月  
学校法人 東杜学園  
国際マルチビジネス専門学校  
校長 野口 和江

### 1 学校関係者評価委員会

#### （1）学校関係者評価委員

高木 友子 氏 公益財団法人日本ケアフィット共育機構 理事 事務局長  
伊藤 彰徳 氏 名鉄観光サービス株式会社 仙台支店 副支店長  
齋藤 康紀 氏 仙台ターミナルビル株式会社 ホテル事業本部 事業企画室 室長  
板垣 佑子 氏 株式会社 Two of Us 取締役  
加藤 ゆかり氏 株式会社留学ジャーナル 代表取締役副社長

#### （2）対象期間

2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日

#### （3）評価項目、評価スケール

4（適切）、3（ほぼ適切）、2（やや不適切）、1（不適切）の4段階評価にて行った「2023（令和5）年度自己評価報告書」を基本に、評価項目別に委員会から頂戴した評価、意見並びに提案を以下に報告致します。

#### (4) 学校関係者評価

評価項目1：教育理念・目標

評価項目2：学校運営

評価項目3：教育活動

- ・特に委員会からの意見はなかった。

評価項目4：学修成果

- ・「学んだ分野で社会に出る」機会を就職率 100%という結果で昨年につき示せることは評価に値する。
- ・就職を指導する教員の層が厚く、強みである。
- ・「MBC 就職サポート制度」に続き、今後の卒業生とのネットワーク作りに非常に期待している。

評価項目5：学生支援

- ・昨年検討していた卒業後の支援体制について、「MBC 就職サポート制度」と銘打ち発足とのこと、人材確保の点からも非常に興味深いものがある。転職サイトが急増する昨今、卒業した「学校」に相談できる安心感は大きいものと思う。
- ・希望すれば入社が可能となる時代になりつつあると感じる。卒業後3年間の卒業生サポートは時代に適った制度と評価する。
- ・価値観の多様化、社会が許容する考え方や行動の範囲の広がりに加え、障害者差別解消法が今年4月より施行された。「合理的配慮」を理解し、共に働き生きていく＝共生を考えていく時代。

評価項目6：教育環境

- ・定期的な見直しや改善を行ってはいるが、今後もより一層の適切な対応を望む。

評価項目7：学生受け入れ募集

- ・オープンキャンパスは、目標とする仕事について学ぶ最初の機会であり、その実施内容が理解しやすく構成されている。安心して学べる体制が整備されていることが伝わる。

評価項目8：財務

評価項目9：法令等の遵守

- ・財務状況、会計監査、法令の遵守については適正に行われている。

評価項目10：社会貢献・地域貢献

- ・特に委員会からの意見はなかった。

評価項目11：国際交流

- ・昨年度の本委員会の課題の一つは、外国人留学生に対する戦略およびその対応策についてであっ

た。日本入国が可能となった外国人留学生募集再開の際、今までの経験を踏まえた学校方針を定め、入学基準の見直しを図った旨を報告した。

(5) 課題

- ・ 卒業生の支援体制強化
- ・ 共生社会に対する考え方

以上の内容を学内で検討し、改善案をまとめ次回以降の改善を目指す。

以 上